

四肢リンパ浮腫におけるインドシアニングリーン蛍光リンパ管造影とリンパシンチグラフィの相関関係の検討

1. 研究の対象

2020年4月から2022年11月までに当院形成外科を受診した二次性リンパ浮腫の患者さん。

2. 研究目的・方法・期間

現在リンパ浮腫の診断と重症度評価はリンパシンチグラフィでは前川分類、インドシアニングリーン(ICG)リンパ管造影ではDermal Backflow Stagingを用いて行われています。どちらもそれぞれ重症度判定に有用であるという報告がされていますが、その重症度の相関性の検討が行われた報告はありません。リンパシンチグラフィ、ICGリンパ管造影はそれぞれ特殊で高額な機器を要するため、同時に行える施設は少なく、またリンパシンチグラフィは放射線被ばくがあること、ICGリンパ管造影はヨードアレルギー患者には行えないことが問題として挙げられます。そのため、どちらか一方の検査を行うことで、もう一方の結果を相補的に予想することができれば、上記の問題点を克服することができ、ひいては医療費の削減にもつながるものと考えます。当院はこの二つの検査が同時にできる数少ない医療機関の一つであり、そのため本研究を通じてこの2つの検査結果がどのように相関があるかを検討することにより、上記問題点の克服に寄与するものと考えられます。

研究期間は令和5年10月31日までとします。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、癌の治療履歴、リンパシンチグラフィとインドシアニンググリーンリンパ管造影の画像データ

試料：利用しません。

4. 研究に用いる試料・情報の管理者

試料・情報の利用については、研究用のID番号を作成し、直ぐには個人を特定できないように加工したもの(仮名加工情報)を作成します。作成時の情報については研究責任者が厳重に管理します。また、加工後の情報についても、この研究に参加する研究者のみで利用します。

5. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究責任者：防衛医科大学校病院 形成外科 土屋 壮登

住所：埼玉県所沢市並木 3-2

電話：04-2995-1511（内線 6162）（対応時間：平日 9 時～16 時）